

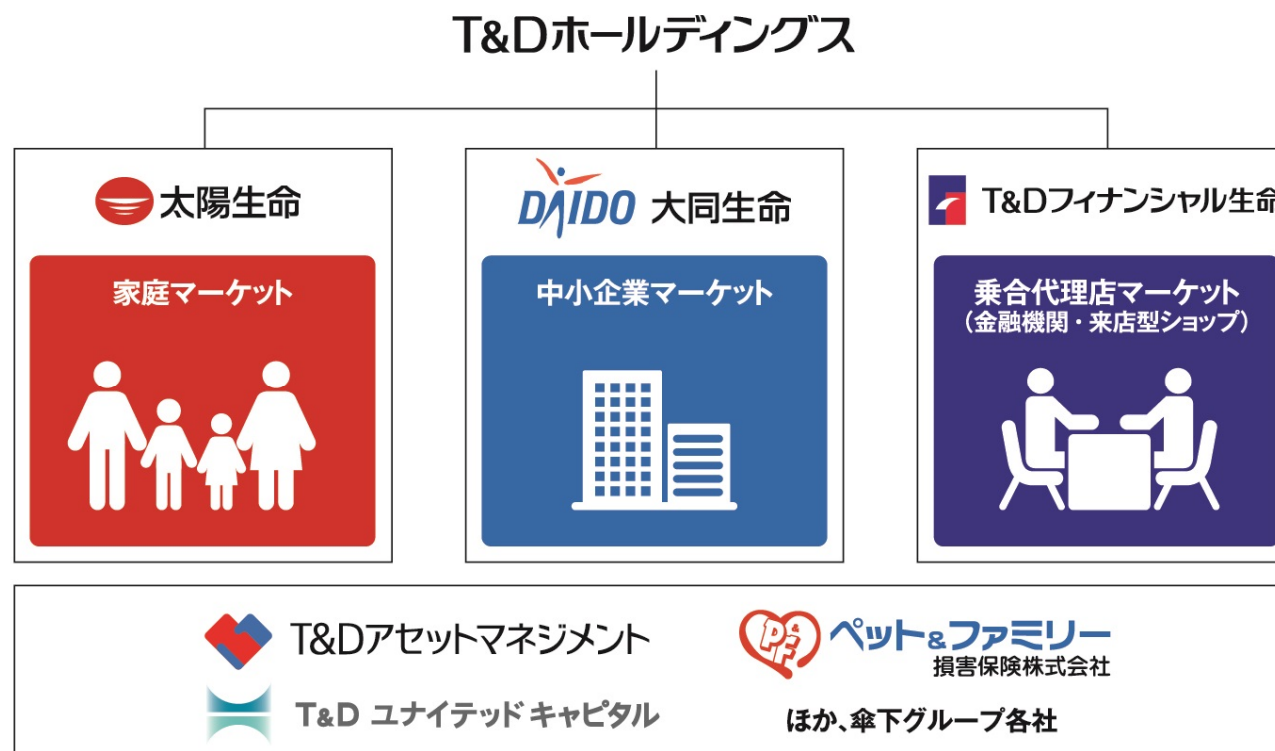
T&D

T&D保険グループ 2021年3月期第3四半期決算のお知らせ

2021年2月12日

株式会社 T&Dホールディングス

グループストラクチャー



T&D保険グループのT&Dホールディングス傘下には、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の中核生保3社のほか、資産運用関連事業を担うT&Dアセットマネジメントやペット保険を取扱うペット&ファミリー損害保険、グループの事業ポートフォリオ多様化を主に担うT&Dユナイテッドキャピタル等のグループ会社があります。

<本資料における計数の定義>

連結	: T&Dホールディングス(連結)
3社合算	: 生命保険会社3社(太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)の単純合算

2021年3月期第3四半期決算のポイント	P. 3
1. T&D保険グループ決算の概況	P. 5
2. 国内生命保険事業	P. 8
3. 事業ポートフォリオの多様化	P. 14
4. 2021年3月期 通期業績予想	P. 16
【参考】新型コロナウイルス感染症への対応	P. 17

2021年3月期第3四半期決算のポイント

新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、対面・非対面を組み合わせた営業活動や契約手続きを推進したことにより、契約業績は前年同期並みの水準となりました。また、グループ修正利益は前年同期から増加となりました。

1. T&D保険グループ決算の概況

- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は、生保事業が順調に推移したことに加え、米国再保険持株会社（以下、フォーティテュード社）の関連会社化に伴い持分法による投資利益を計上したことにより、前年同期から大幅に増加。
- ・グループ修正利益※も同様の要因により、前年同期から増加。
- ・Group MCEVは、新契約の積み上げや国内長期金利・内外株価の上昇等により、前期末から増加。

※ グループ修正利益は、当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標の一つです。

2. 国内生命保険事業

- ・当グループの主要経営指標である新契約価値※は、堅調な契約業績により、前年同期から増加。
- ・新契約年換算保険料は、第1四半期においては新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う営業自粛の影響により減少したものの、第2四半期以降は前年同期を上回り、前年同期から増加。保有契約年換算保険料は前期末からやや減少。
- ・3社合算の基礎利益は、利息及び配当金等収入の減少等により、前年同期から減少。

※ 新契約価値は、当期中に販売した新契約（転換契約を含む）の価値を表したものです。

3. 事業ポートフォリオの多様化

- ・T&Dユナイテッドキャピタルを通じて、フォーティテュード社を関連会社化したことにより、同社利益の25%を持分法による投資利益として計上。

4. 通期業績予想・株主配当予想

- ・当社の2021年3月期通期業績に計上するフォーティテュード社の決算数値（2020年1～12月）を反映し、通期連結業績予想を上方修正。
- ・1株当たり年間配当金予想は、前回の44円から2円増配し、46円に修正。6期連続の増配を予定。

2021年3月期第3四半期決算のポイント

1. T&D保険グループ決算の概況

	2020/3期 3Q累計	2021/3期 3Q累計	前年同期比
経常収益	16,433 億円	17,235 億円	+4.9 %
経常利益	915 億円	1,913 億円	+109.0 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	508 億円	1,409 億円	+177.4 %
グループ修正利益 ※	502 億円	603 億円	+20.1 %

	2020/3末	2020/12末	前期末差
Group MCEV	25,881 億円	32,525 億円	+6,644 億円

2. 国内生命保険事業(3社合算)

	2020/3期 3Q累計	2021/3期 3Q累計	前年同期差
新契約価値	916 億円	1,088 億円	+171 億円
	2020/3期 3Q累計	2021/3期 3Q累計	前年同期比
新契約年換算保険料	796 億円	804 億円	+1.0 %
	2020/3末	2020/12末	前期末比
保有契約年換算保険料	15,386 億円	15,336 億円	△ 0.3 %
	2020/3期 3Q累計	2021/3期 3Q累計	前年同期比
修正利益 ※	500 億円	511 億円	+2.1 %
	2020/3期 3Q累計	2021/3期 3Q累計	前年同期比
基礎利益	1,252 億円	1,161 億円	△ 7.3 %

3. 事業ポートフォリオの多様化(生保3社以外)

	2020/3期 3Q累計	2021/3期 3Q累計
修正利益 ※ (TDAM・P&F・TDUC(連結)合算)	△ 0 億円	85 億円

TDAM : T&Dアセットマネジメント
P & F : ペット&ファミリー損害保険
TDUC : T&Dユナイテッドキャピタル

4. 2021年3月期 通期業績予想

2020年6月3日公表の2021年3月期通期業績予想を次のとおり修正

	2020/3期 実績	2021/3期 予想
親会社株主に帰属する 当期純利益	671 億円	1,570 億円
グループ修正利益 ※	649 億円	730 億円

2020年5月15日公表の2021年3月期1株あたり年間配当金予想を次のとおり修正

	2020/3期 実績	2021/3期 予想
1株当たり年間配当金	44.0 円	46.0 円
(うち中間配当)	22.0 円	22.0 円

※ 修正利益
当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した
経営実態を表す指標の一つ

1. T&D保険グループ決算の概況(連結損益)

(単位:億円)

	2020/3期 3Q累計	2021/3期 3Q累計	前年同期比	
経常収益	16,433	17,235	+802	+4.9%
うち保険料等収入	13,207	12,830	△ 377	△ 2.9%
うち資産運用収益	2,649	2,911	+261	+9.9%
うち利息及び配当金等収入	2,239	2,090	△ 149	△ 6.7%
うち持分法による投資利益	—	943	+943	—
経常費用	15,518	15,322	△ 195	△ 1.3%
うち保険金等支払金	8,918	9,804	+885	+9.9%
うち責任準備金等繰入額	3,666	2,793	△ 872	△ 23.8%
うち資産運用費用	822	654	△ 167	△ 20.4%
経常利益	915	1,913	+998	+109.0%
特別損益	△ 32	△ 98	△ 65	—
契約者配当準備金繰入額	184	177	△ 6	△ 3.6%
税金等調整前四半期純利益	698	1,637	+938	+134.4%
法人税等合計	190	227	+37	+19.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	508	1,409	+901	+177.4%
グループ修正利益	502	603	+100	+20.1%

親会社株主に帰属する四半期純利益は、フォーティテュード社の関連会社化に伴う持分法による投資利益の計上により、前年同期から大幅に増加。

グループ修正利益も、同様の要因により前年同期から増加。

<主な増減要因>

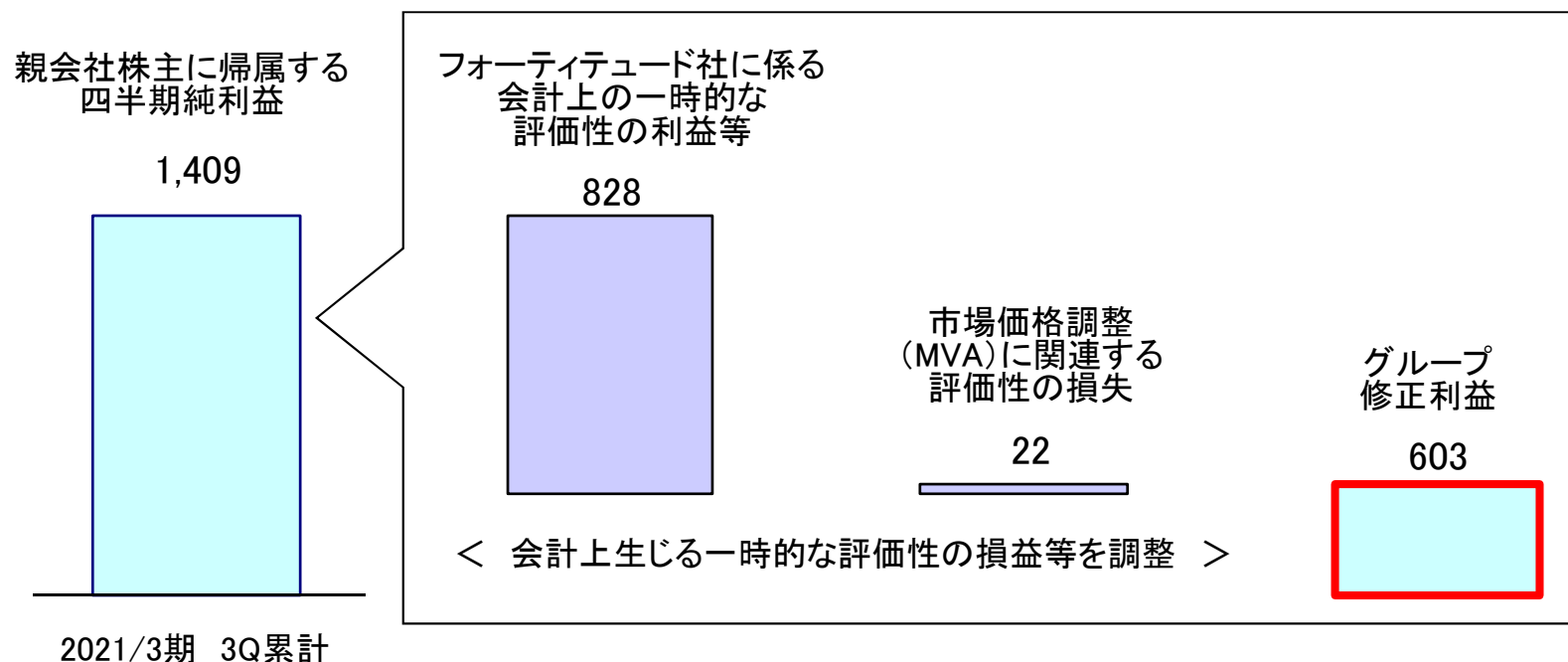
- ① 金銭の信託運用益の増加による
- ② フォーティテュード社の関連会社化による
- ③④ 満期保険金等の増加による

当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標の一つ

1. T&D保険グループ決算の概況(グループ修正利益)

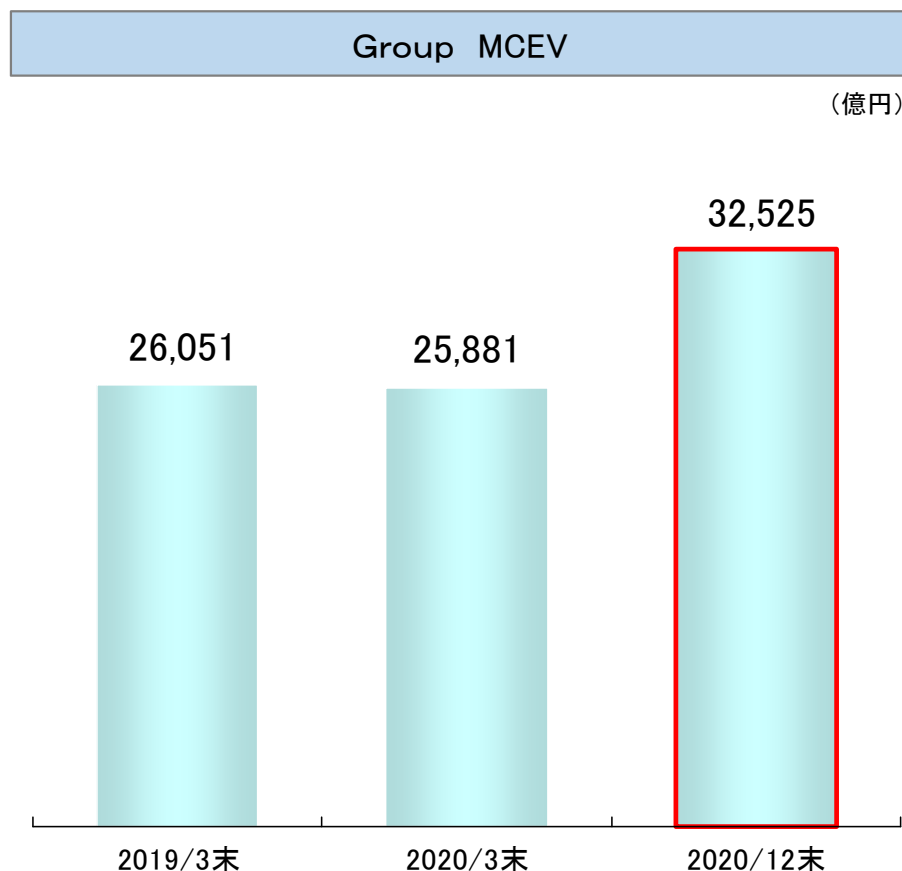
親会社株主に帰属する四半期純利益・グループ修正利益の差異

(億円)



- 2021年3月期より、グループの経営実態を表す指標の一つとして、当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した「グループ修正利益」を導入。
- フォーティテュード社を関連会社化したことに伴い、同社利益の25%を持分法による投資利益として計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益が大幅に増加。同社の利益に含まれる、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整し、「グループ修正利益」を算出。

1. T&D保険グループ決算の概況(MCEV [概算値])



(単位: 億円)

	2020/12末	前期末差
T&D保険グループ全体 (Group MCEV)	32,525	+6,644
生命保険事業のMCEV	31,328	+5,737
うち太陽生命	10,636	+1,678
うち大同生命	19,977	+3,716
うちT&Dフィナンシャル生命	1,013	+348
生命保険以外の事業に係る純資産	1,196	+906

* 生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV(エンベディッド・バリュー)」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したものです。

* 生命保険以外の事業に係る純資産の前期末差(+906億円)には、フォーティテュード社に係る会計上の一時的な評価性の損益等(+828億円)を含んでいます。

2. 国内生命保険事業(新契約・保有契約の状況)

■ 新契約の状況

(単位:億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		3社合算	
	2021/3期 3Q累計	前年同期差	2021/3期 3Q累計	前年同期差	2021/3期 3Q累計	前年同期差	2021/3期 3Q累計	前年同期差
新契約価値	362	△ 9	717	+135	8	+45	1,088	+171

* 新契約価値は、当期中に販売した新契約(転換契約を含む)の価値を表したものです。

(単位:億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		3社合算	
	2021/3期 3Q累計	前年同期比	2021/3期 3Q累計	前年同期比	2021/3期 3Q累計	前年同期比	2021/3期 3Q累計	前年同期比
新契約年換算保険料	242	+1 (+0.6%)	399	+46 (+13.0%)	162	△ 39 (△ 19.5%)	804	+8 (+1.0%)
うち第三分野	129	+13 (+11.4%)	110	△ 1 (△ 1.8%)	2	△ 0 (△ 7.8%)	243	+11 (+4.8%)

* 新契約には、転換による純増加を含んでいます。

■ 保有契約の状況

(単位:億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		3社合算	
	2020/12末	前期末比	2020/12末	前期末比	2020/12末	前期末比	2020/12末	前期末比
保有契約年換算保険料	5,909	△ 94 (△ 1.6%)	8,014	△ 51 (△ 0.6%)	1,412	+95 (+7.3%)	15,336	△ 50 (△ 0.3%)
うち第三分野	1,190	+47 (+4.1%)	1,437	+22 (+1.6%)	28	+1 (+4.5%)	2,656	+71 (+2.8%)

2. 国内生命保険事業(損益関係)

(単位: 億円)

	太陽生命			大同生命			T&Dフィナンシャル生命			3社合算		
	2021/3期 3Q累計	前年同期比		2021/3期 3Q累計	前年同期比		2021/3期 3Q累計	前年同期比		2021/3期 3Q累計	前年同期比	
経常収益	5,925	△ 61	△ 1.0%	7,483	△ 3	△ 0.0%	2,711	△ 47	△ 1.7%	16,120	△ 111	△ 0.7%
うち保険料等収入	4,668	+81	+1.8%	5,944	△ 74	△ 1.2%	2,162	△ 396	△ 15.5%	12,775	△ 388	△ 3.0%
うち資産運用収益	1,173	△ 149	△ 11.3%	1,314	+110	+9.1%	495	+347	+234.3%	2,983	+308	+11.5%
うち利息及び配当金等収入	1,065	△ 42	△ 3.8%	982	△ 97	△ 9.0%	54	△ 9	△ 14.4%	2,102	△ 149	△ 6.6%
経常費用	5,625	△ 95	△ 1.7%	6,779	△ 58	△ 0.9%	2,743	△ 20	△ 0.8%	15,149	△ 174	△ 1.1%
うち保険金等支払金	4,458	+249	+5.9%	3,803	△ 78	△ 2.0%	1,510	+708	+88.3%	9,773	+879	+9.9%
うち責任準備金等繰入額	132	△ 187	△ 58.5%	1,587	+9	+0.6%	1,070	△ 707	△ 39.8%	2,791	△ 885	△ 24.1%
うち資産運用費用	276	△ 143	△ 34.1%	435	+31	+7.9%	0	△ 13	△ 94.1%	712	△ 124	△ 14.9%
経常利益	299	+34	+13.1%	704	+54	+8.4%	△ 32	△ 26	-	971	+62	+6.9%
特別損益	△ 32	△ 33	-	△ 59	△ 31	-	△ 6	△ 0	-	△ 98	△ 65	-
契約者配当準備金繰入額	92	△ 5	△ 5.3%	85	△ 1	△ 1.7%	0	+0	-	177	△ 6	△ 3.6%
税引前四半期純利益	174	+6	+3.8%	560	+24	+4.6%	△ 39	△ 27	-	695	+3	+0.5%
法人税等合計	50	+8	+19.5%	166	+20	+14.3%	△ 10	△ 7	-	206	+21	+11.6%
四半期純利益	124	△ 1	△ 1.4%	393	+3	+0.9%	△ 28	△ 19	-	488	△ 17	△ 3.5%
修正利益	124	△ 1	△ 1.4%	393	+3	+0.9%	△ 6	+8	-	511	+10	+2.1%
基礎利益	393	△ 9	△ 2.3%	783	△ 99	△ 11.3%	△ 15	+17	-	1,161	△ 91	△ 7.3%

* T&Dフィナンシャル生命の修正利益は、四半期純利益から市場価格調整(MVA)に関連する評価性の損益を調整して算出しています。

2. 国内生命保険事業(健全性指標等)

■ ソルベンシー・マージン比率

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		T&Dホールディングス連結(参考)	
	2020/12末	前期末差	2020/12末	前期末差	2020/12末	前期末差	2020/12末	前期末差
ソルベンシー・マージン比率	847.1%	41.6pt上昇	1,382.8%	47.5pt上昇	992.9%	40.7pt低下	1,128.8%	21.8pt上昇

■ 実質純資産

(単位: 億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		T&Dホールディングス連結(参考)	
	2020/12末	前期末差	2020/12末	前期末差	2020/12末	前期末差	2020/12末	前期末差
実質純資産	11,199	+697	16,555	+1,585	2,443	△ 88	31,316	+3,100

■ 有価証券等の差損益(一般勘定)

(単位: 億円)

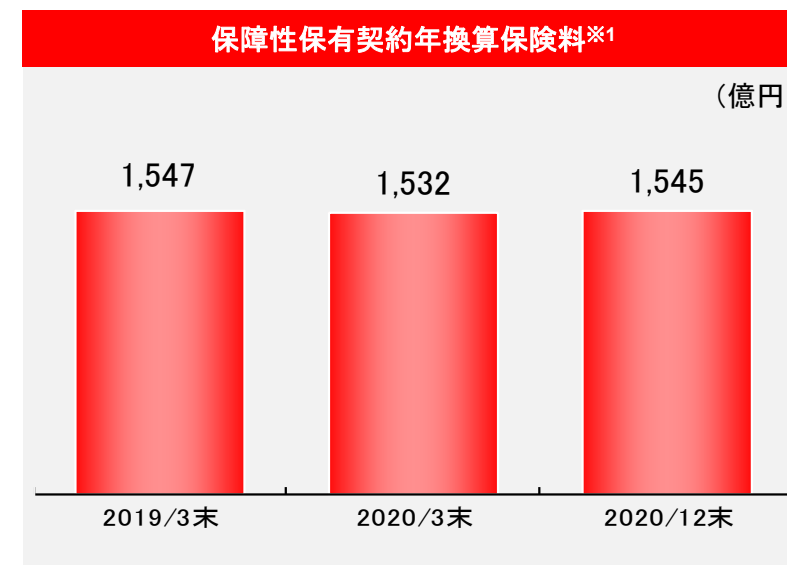
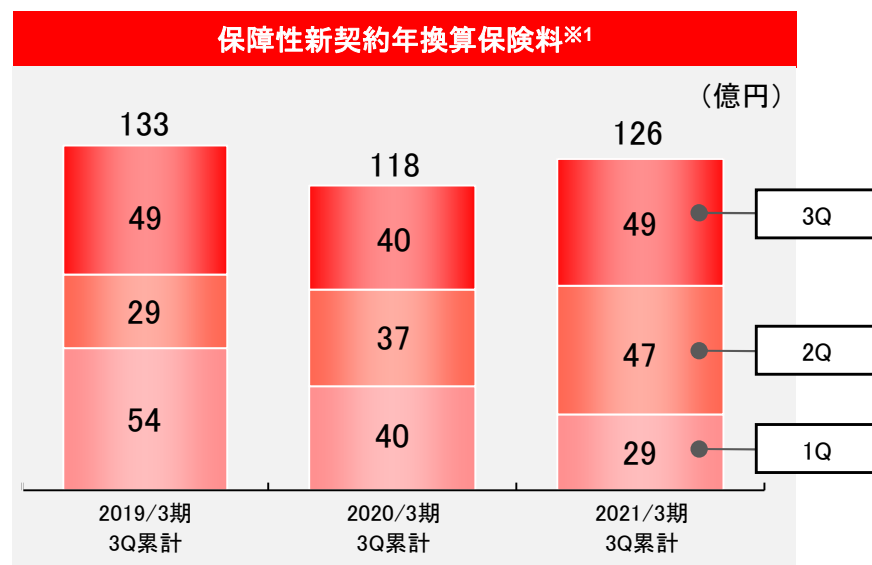
	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		3社合算	
	2020/12末	前期末差	2020/12末	前期末差	2020/12末	前期末差	2020/12末	前期末差
有価証券の差損益	5,756	+686	6,088	+1,428	1,684	+24	13,529	+2,140
うち公社債	3,151	△ 550	2,788	△ 627	598	△ 79	6,537	△ 1,257
うち株式	793	+565	1,700	+614	-	-	2,494	+1,179
うち外国証券	1,501	+542	1,356	+1,067	53	+3	2,911	+1,613
土地等の差損益	615	△ 8	788	+22	-	-	1,404	+14

* 有価証券の差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しています。

* 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しています。

【参考】太陽生命の主要ポイントと状況

- 保障新契約年換算保険料^{※1}は前年同期より伸展。



- 保障新契約年換算保険料^{※1}は、ウィズコロナ時代に対応した営業活動の推進や「感染症プラス入院一時金保険」の販売が好調であったことにより、第3四半期累計で126億円となり、前年同期から7.1%の増加。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う訪問活動の自粛等により、第1四半期の契約業績は減少したものの、第2四半期と第3四半期の合計は前年同期比124.7%と第2四半期以降は好調に推移。
- 入院一時金保険等の第三分野商品の販売が引き続き堅調であったことから、保障保有契約年換算保険料^{※1}は1,545億円となり、前期末から0.8%の増加。

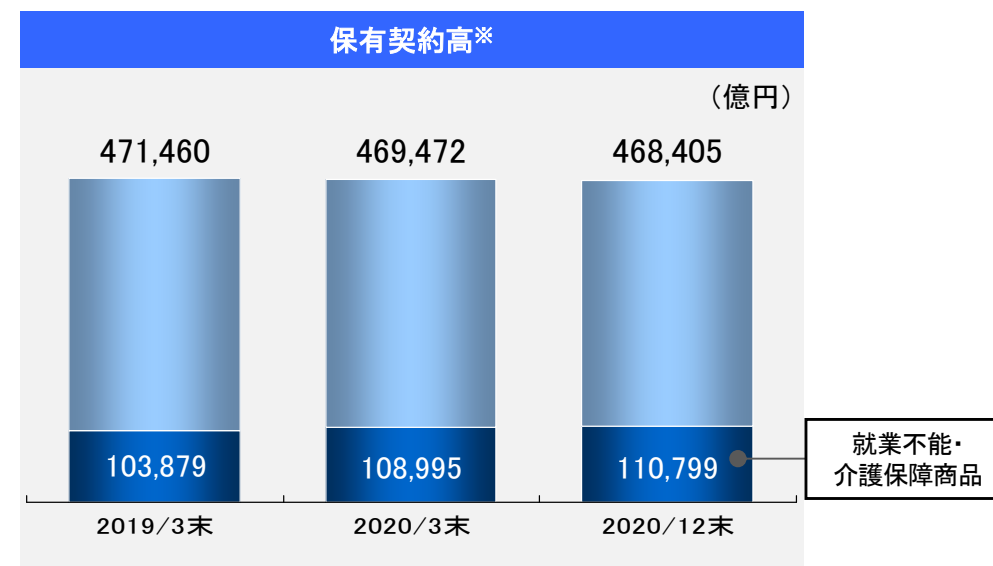
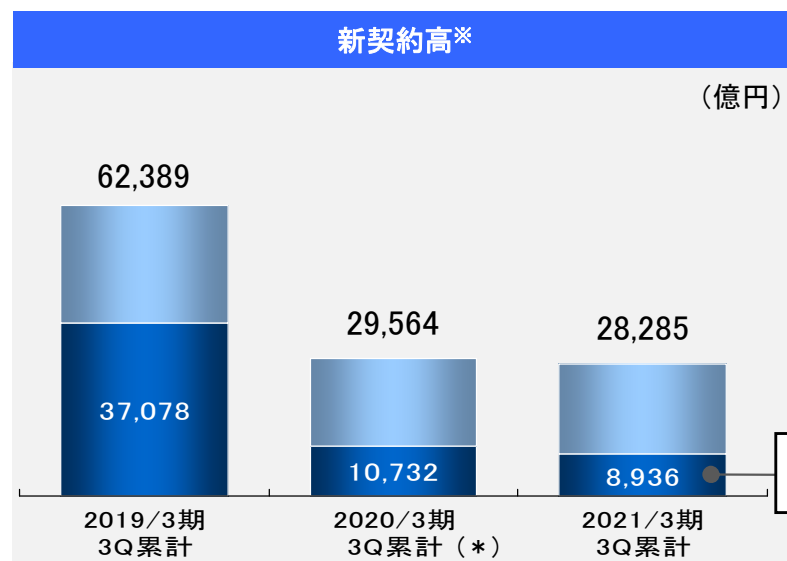
- ・ 2020年9月に新型コロナウイルス感染症等の感染症による入院を保障する「感染症プラス入院一時金保険」を発売。11月には選択緩和型商品でも取扱いを開始し、販売開始後4ヶ月で販売件数は累計5万件と好調。
- ・ 2021年1月には営業職員チャネルにおいても、非対面でのお手続きをご希望されるお客様のニーズに対応するため、リモート申込（非対面募集）を導入し、国内主要生保で初めて^{※2}保険の申込手続きからお支払手続きまでのデジタル化を実現。

※1 保障新契約年換算保険料（太陽生命独自の指標）とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保険料の合計。
同指標の伸展は「EVの伸展」に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視する指標。

※2 国内漢字生命保険会社9社の営業職員チャネルにおいて、デジタル技術を活用した非対面募集で契約手続きとお支払い手続きを完結できるのは太陽生命のみ（2020年12月8日時点において太陽生命調べ）。

【参考】大同生命の主要ポイントと状況

- 新契約高※は計画どおり進捗。保有契約高※は第2・第3四半期は純増し、前期末からはほぼ横ばいで推移。



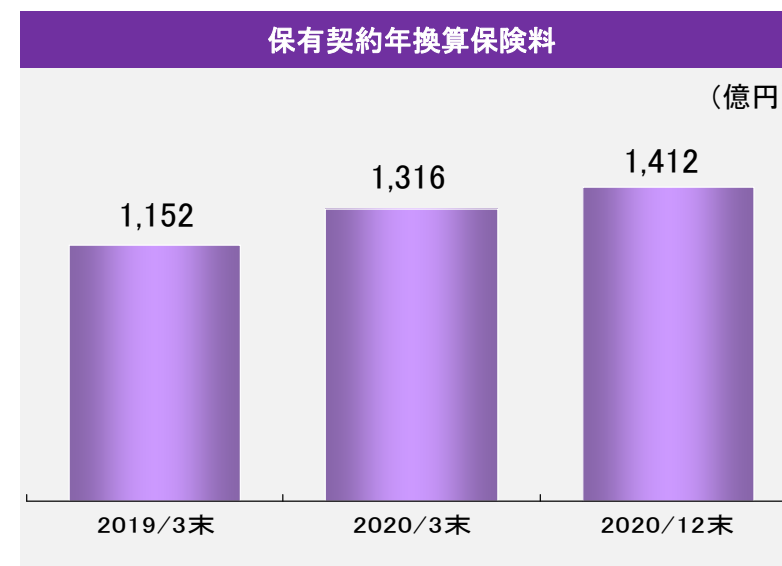
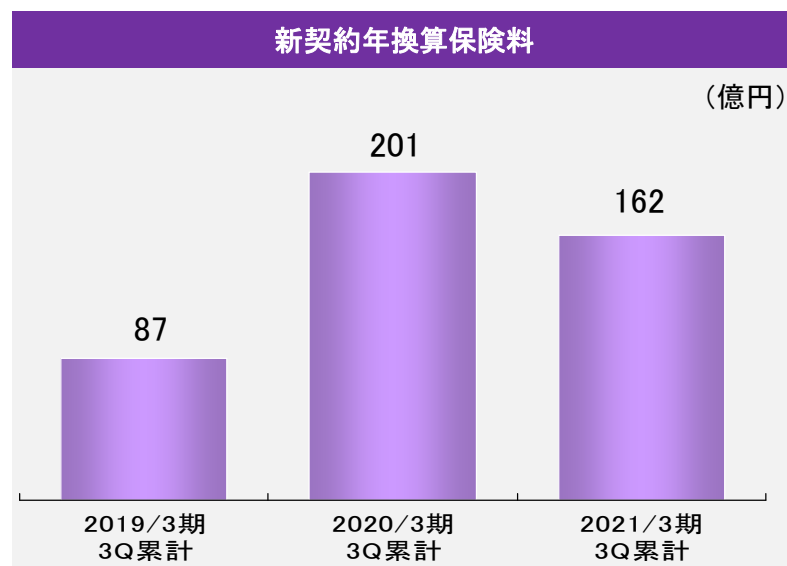
- 対面・非対面を組み合わせた営業活動や契約手続きの推進に加え、コロナ禍での保障ニーズの高まりもあり、多様な保障ニーズにお応えできるオーダーメイド型商品の販売が順調に推移。
- 新契約高※は、昨年4～5月の対面による営業活動自粛の影響等により前年同期から減少するも、計画どおり進捗。
* 2020年3月期第3四半期は、定期保険等の税務取扱の見直しに伴う一部商品の販売停止の影響により、前年同期から減少。
- 保有契約高※は、第2・第3四半期は純増し、前期末からは、ほぼ横ばいで推移。

- ・ 被保険者の申込手続きをお客さまのスマートフォンやPC等で実施できる取組み(つながる手続)を開始(2020年9月)、手続きの非対面化を推進。緊急事態宣言再発令の対象地域では対面での営業活動を自粛しており、電話・郵送・ZOOM等を活用してお客さま対応を実施。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大に対し、契約者貸付の利息免除(2021年3月末まで適用)や、「コロナ助け合い保険」の無償提供、オンラインビジネスマッチングイベントの開催等を通じて引き続き全国の中小企業を支援。

※ 個人保険・個人年金保険の新契約高および保有契約高に、「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフα」等の介護保険金額を計上した場合の新契約高・保有契約高。

【参考】T&Dフィナンシャル生命の主要ポイントと状況

- 新契約年換算保険料は前年同期より減少するも計画を上回って進捗。保有契約年換算保険料は前期末から増加。



- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い2020年4月に発令された緊急事態宣言による営業活動への影響等により、新契約年換算保険料は162億円、前年同期から19.5%減少するも、同宣言解除後は代理店における営業活動の再開により業績が回復し、計画を上回って進捗。
- 保有契約年換算保険料は1,412億円、前期末から7.3%の増加。

- ・ 2021年2月に「働くあなたにやさしい保険2」を販売開始。三大疾病やケガによる継続的な収入減少に備える「年金コース」と三大疾病による治療費などの一時的な支出増加に備える「一時金コース」の2つのコースから選択できる商品に進化。
- ・ 2020年9月に販売開始した「生涯プレミアムジャパン5」は、円ならではの安心感と、軽度から重度までの介護・認知症にも備えられる特約により、販売は堅調に推移。
- ・ コロナ禍を受け、平準払商品について、対面での募集に加え、オンライン面談や郵送を活用した募集を開始。また、ホームページに代理店向けの商品研修ポータルサイトを新設するとともに、Webミーティングによるオンライン研修を実施。

3. 事業ポートフォリオの多様化(T&Dユナイテッドキャピタル)

■ T&Dユナイテッドキャピタル(連結)の状況

(単位：億円)

	2021/3期 1Q単期	2021/3期 2Q単期	2021/3期 3Q単期	2021/3期 3Q累計
経常収益	616	313	14	944
うち持分法による投資利益	615	313	14	943
経常費用	4	4	4	12
経常利益	612	309	10	931
四半期純利益	613	292	10	915
修正利益	46	16	24	86

- フォーティテュード社の持分25%を取得(2020年6月)。
- 投資時点の同社純資産と取得価額の差額を持分法による投資利益として615億円計上。これに資産評価益の増加等が加わり、第3四半期累計の持分法による投資利益は943億円。
- 四半期純利益は915億円。
- 市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した修正利益は86億円。

【参考】フォーティテュード社の関連会社化に伴う持分法による投資利益の発生について

T&Dホールディングスは、フォーティテュード社の決算数値を3ヵ月遅れで計上。

T&Dホールディングスの2021年3月期通期業績に計上するフォーティテュード社の決算数値(2020年1～12月)を反映し、通期連結業績予想を修正。

3. 事業ポートフォリオの多様化(アセットマネジメント事業・損害保険事業)

■ T&Dアセットマネジメントの状況

(単位:百万円)

	2021/3期 3Q累計	前年同期差
営業収益(実質ベース)	2,310	△ 120
経常利益	103	△ 192
四半期純利益	61	△ 139

新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、市況の回復により、投資信託の運用資産残高は微減となった。また、費用抑制により黒字を確保。

■ ペット&ファミリー損害保険の状況

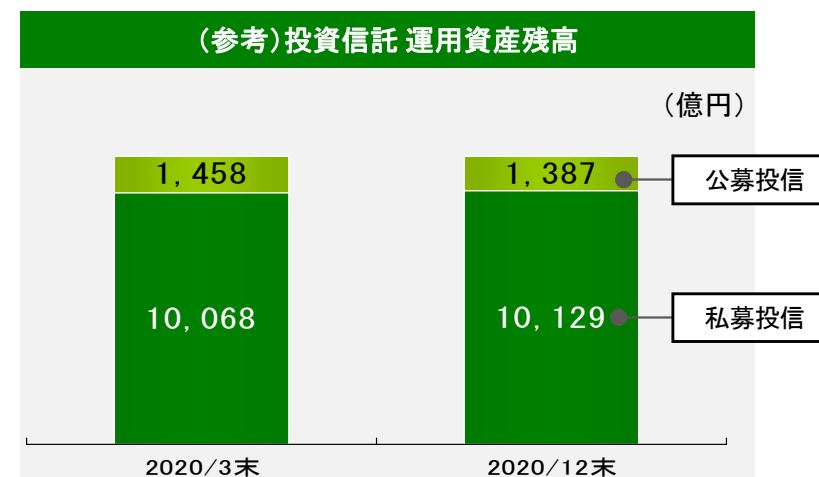
(単位:百万円)

	2021/3期 3Q累計	前年同期差
経常収益	5,414	+1,162
経常損益	△ 235	△ 63
四半期純損益	△ 178	△ 40

保険金支払いが増加した影響により純損失となったものの、主力のペットショップ代理店を中心に新契約は好調に推移。保有契約件数は増加。

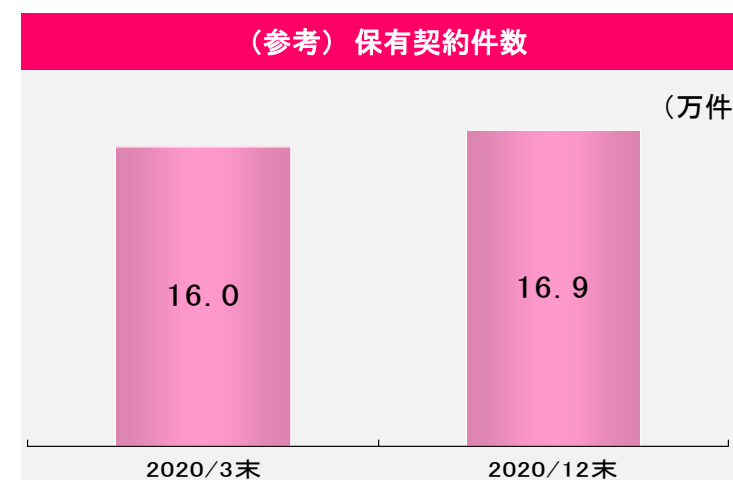
(参考) 投資信託 運用資産残高

(億円)



(参考) 保有契約件数

(万件)



4. 2021年3月期 通期業績予想

■ T&Dホールディングス連結

2020年6月3日公表の2021年3月期通期業績予想を次のとおり修正いたします。

(単位: 億円)

	2020年3月期実績	2021年3月期予想	
		前回発表予想	今回発表予想
経常収益	21,979	19,600	19,970
経常利益	1,254	1,830	2,200
親会社株主に帰属する当期純利益	671	1,230	1,570
グループ修正利益	649	700	730

* 2021年3月期より、グループの経営実態を表す指標の一つとして、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した「グループ修正利益」を導入しています。

2020年5月15日公表の2021年3月期1株当たり年間配当金予想を次のとおり修正いたします。

	2020年3月期実績	2021年3月期予想	
		前回発表予想	今回発表予想
1株当たり年間配当金	44.0円 (うち中間配当22.0円)	44.0円 (うち中間配当22.0円)	46.0円 (うち中間配当22.0円)

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の2021年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

2020年5月15日公表内容から変更ありません。

(単位: 億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	7,200	9,500	2,800
経常利益	360	870	△ 40
当期純利益	140	480	△ 40

* 連結と生命保険会社3社合算との差額は、3社以外の連結子会社・関連会社ならびに連結会社相互間の調整等によるものです。

※ 通期業績予想および配当予想の修正理由については、本日公表のニュースリリースをご参照ください。

※ 上記の各業績予想には、新型コロナウイルス感染症による金融市場への影響や営業自粛・中小企業の景況感悪化に伴う新契約減少・解約増加を一定程度織り込んでいます。

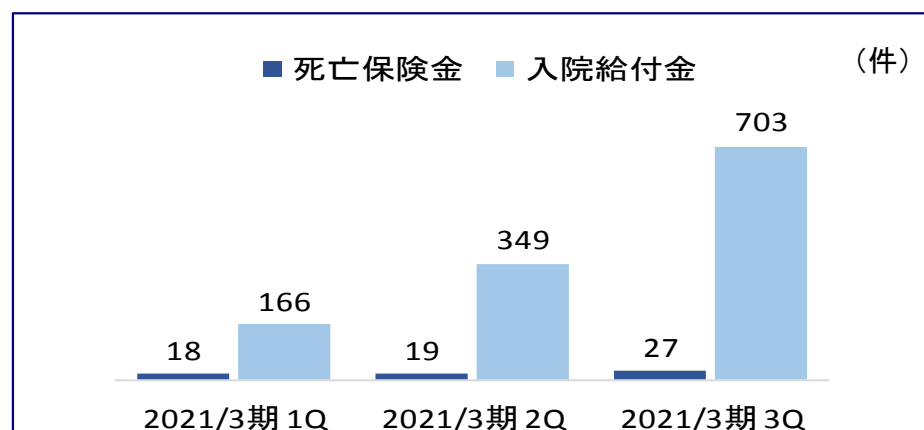
※ 実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

【参考】新型コロナウイルス感染症への対応

T&D保険グループでは、新型コロナウイルス感染症への対応として、様々な取組みを行っています。

- 保険料払込猶予期間の延長(2021年1月の緊急事態宣言以降) 2021年2月1日現在
 - ・太陽生命：2021年1月8日以降の新規受付分は、2021年7月末まで延長
 - ・大同生命：2021年1月12日以降の新規受付分は、2021年10月末まで延長
 - ・T&Dフィナンシャル生命：2021年1月12日以降の新規受付分は、2021年7月末まで延長
- 契約更新手続期間の延長(2021年1月の緊急事態宣言以降)
 - ・太陽生命：2021年1月8日以降の新規受付分は、2021年7月末まで延長
 - ・T&Dフィナンシャル生命：2021年1月12日以降の新規受付分は、2021年7月末まで延長
- 保険金・給付金、契約者貸付金等の簡易迅速なお支払い
- 医療機関の事情などにより、自宅その他の施設で治療を受けた場合でも、一定の要件のもと入院給付金をお支払い
- 新型コロナウイルス感染症を原因として死亡等された場合、災害死亡保険金等をお支払い
- 契約者貸付(新規貸付)の利息免除
 - ・大同生命：2020年12月末まで受付、2021年3月末まで利息免除(太陽生命・T&Dフィナンシャル生命：2020年6月末に受付終了)

新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況 (3社合算)



■ 2020年4月～12月累計

	件数	金額
死亡保険金	64件	600百万円
入院給付金	1,218件	136百万円

* 保険契約に関する取扱条件等については、各社のホームページをご覧ください。

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

【お問合せ先】

株式会社T & Dホールディングス	広報部 井本・勝呂	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課 貴志	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課 筑摩	TEL 03-3272-6206
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課 高橋	TEL 03-6745-6808